

2027年3月期 第2四半期 決算説明会

2026年10月28日(水)
株式会社オービック

Organization for **B**usiness **I**nnovation and **C**ommunication

■ 2027年3月期 第2四半期 決算について

■ 直近の取り組み

■ 2027年3月期 業績見通し

連結業績 概要

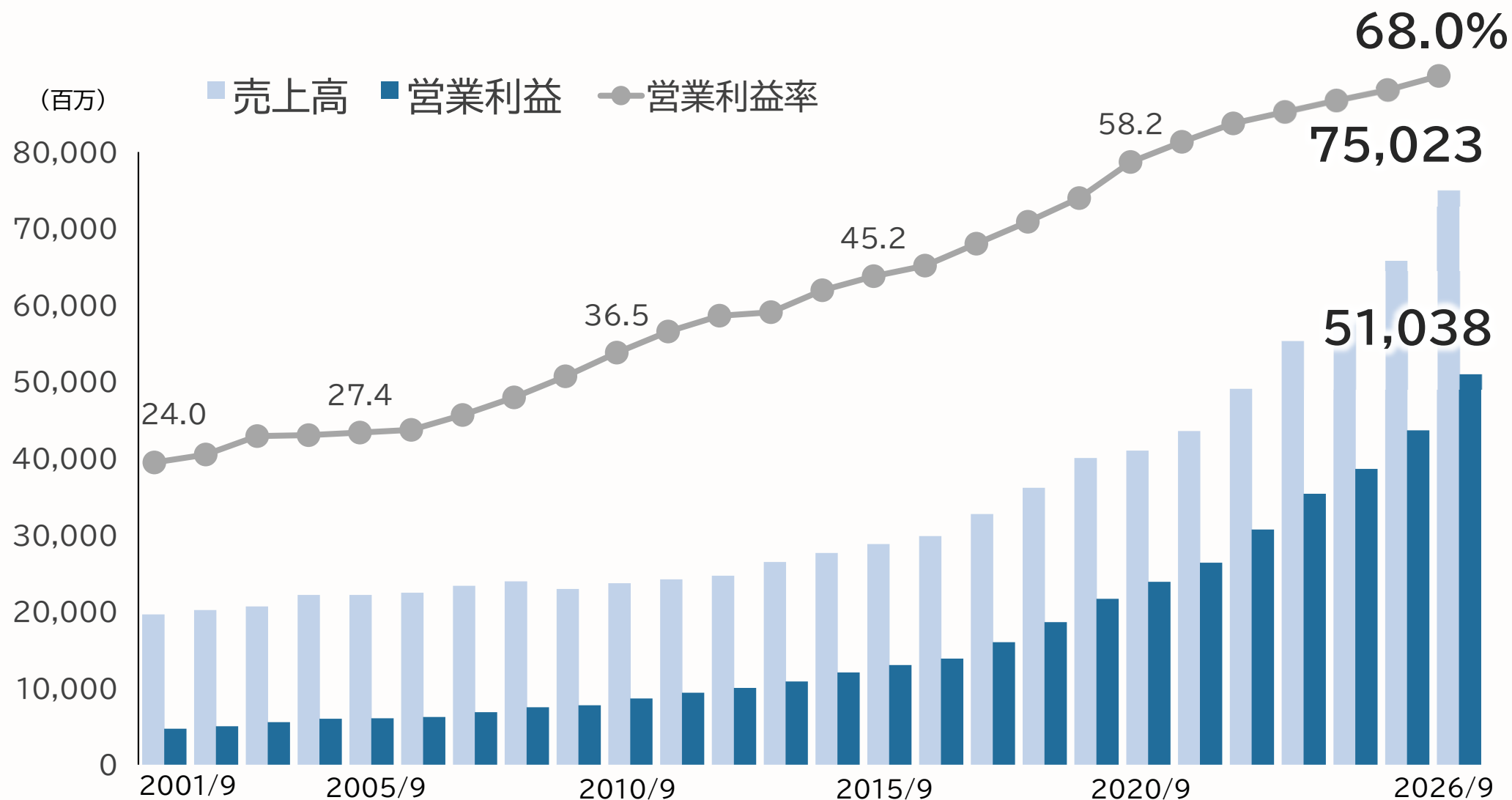
売上高・全段階利益ともに二桁成長を達成し、過去最高を更新
高い収益性を背景に、EPSも前期比121.5%と大きく伸長

(単位:百万円)

	2025/9	2026/9	前期比
売上高	65,784	75,023	114.0%
営業利益	43,655	51,038	116.9%
経常利益	52,228	62,826	120.3%
当期純利益	37,303	44,383	119.0%
1株当たり当期純利益(円) <EPS>	84.80	103.00	121.5%
発行済株式総数(千株) <期中平均>	439,901	430,923	-

持続的な成長性

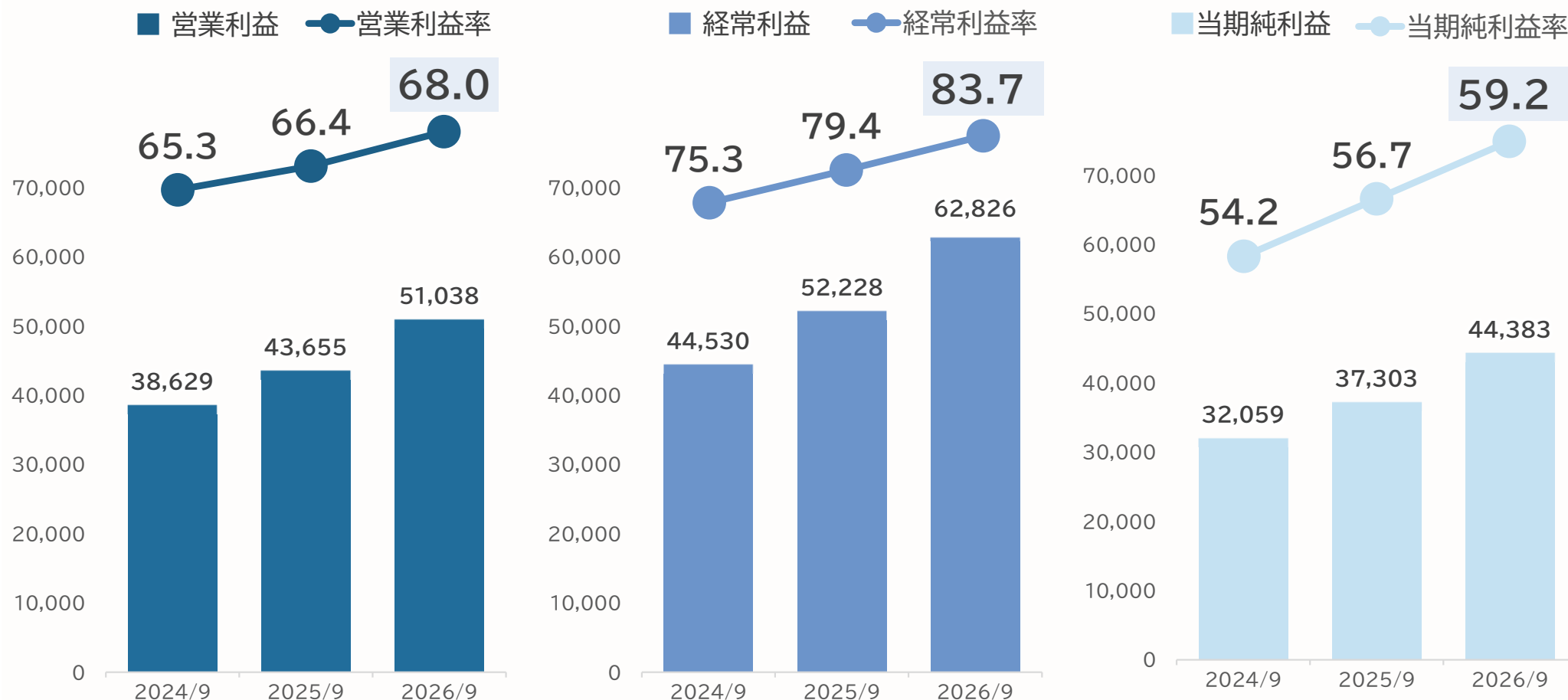
営業利益は上期26期連続増益を達成し、利益率も過去最高を更新
強固な事業基盤の拡張により、持続的な成長を実現



収益性

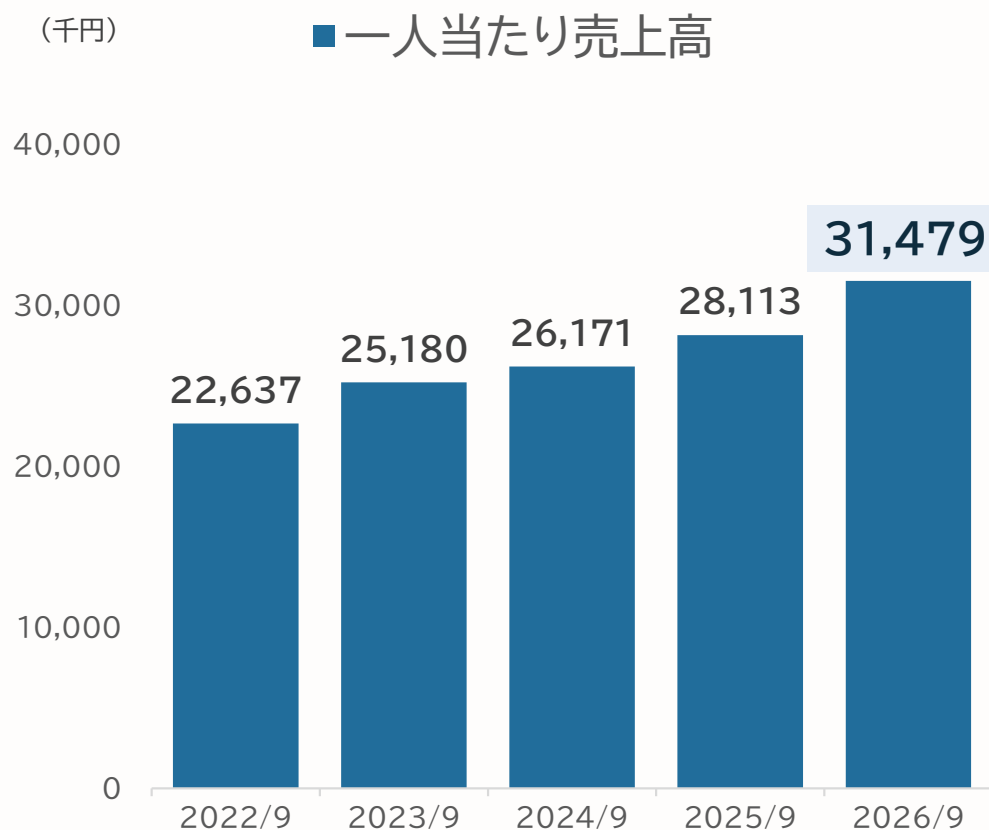
大手・中堅企業への高付加価値提案と採算管理の徹底により
全段階の利益率が過去最高水準へ伸長

(百万)

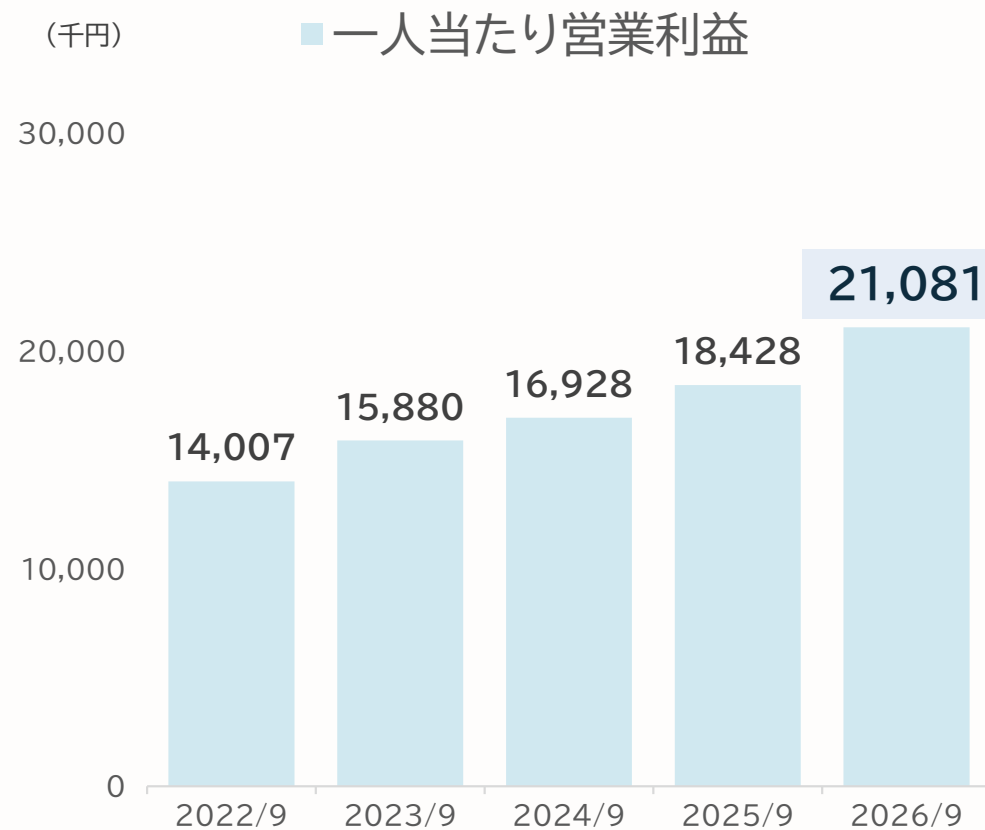


生産性

業種・業務ノウハウの蓄積と自社AIの社内徹底活用により
社員一人当たりの売上高・営業利益が継続的に拡大



※期中平均従業員数で算出



※期中平均従業員数で算出

連結セグメント情報

全セグメントで増収増益を達成し、収益性も一段と向上
主力のSI事業・SS事業がともに二桁増収増益を記録し、業績を牽引

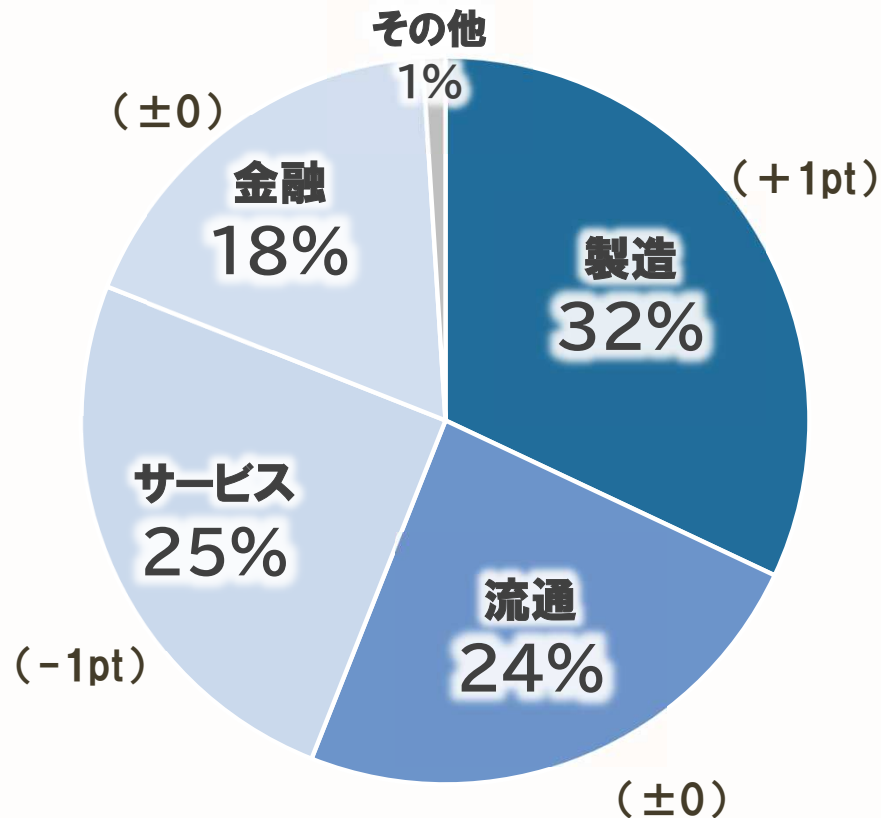
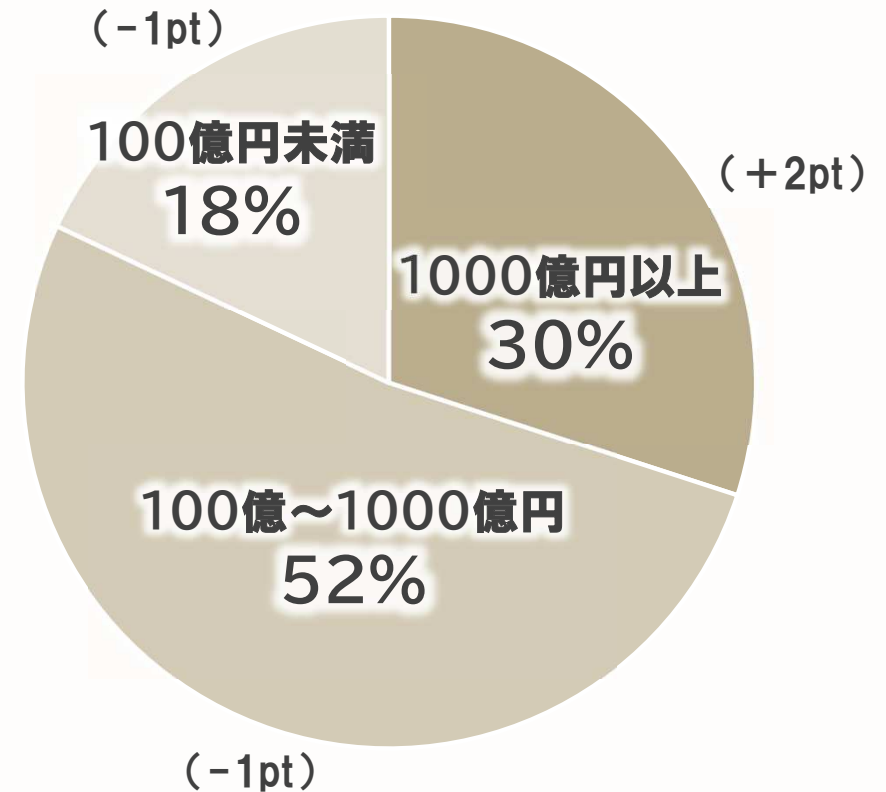
(百万円)

		2025/9期	2026/9期	前期比
SI事業	売上高	27,330	30,642	112.1%
	営業利益	16,686	19,330	115.8%
	営業利益率	61.1%	63.1%	
SS事業	売上高	34,499	40,087	116.2%
	営業利益	25,621	30,010	117.1%
	営業利益率	74.3%	74.9%	
OA事業	売上高	3,955	4,293	108.6%
	営業利益	1,347	1,697	126.0%
	営業利益率	34.1%	39.5%	
合 計	売上高	65,784	75,023	114.0%
	営業利益	43,655	51,038	116.9%
	営業利益率	66.4%	68.0%	

業種・年商規模別トレンド

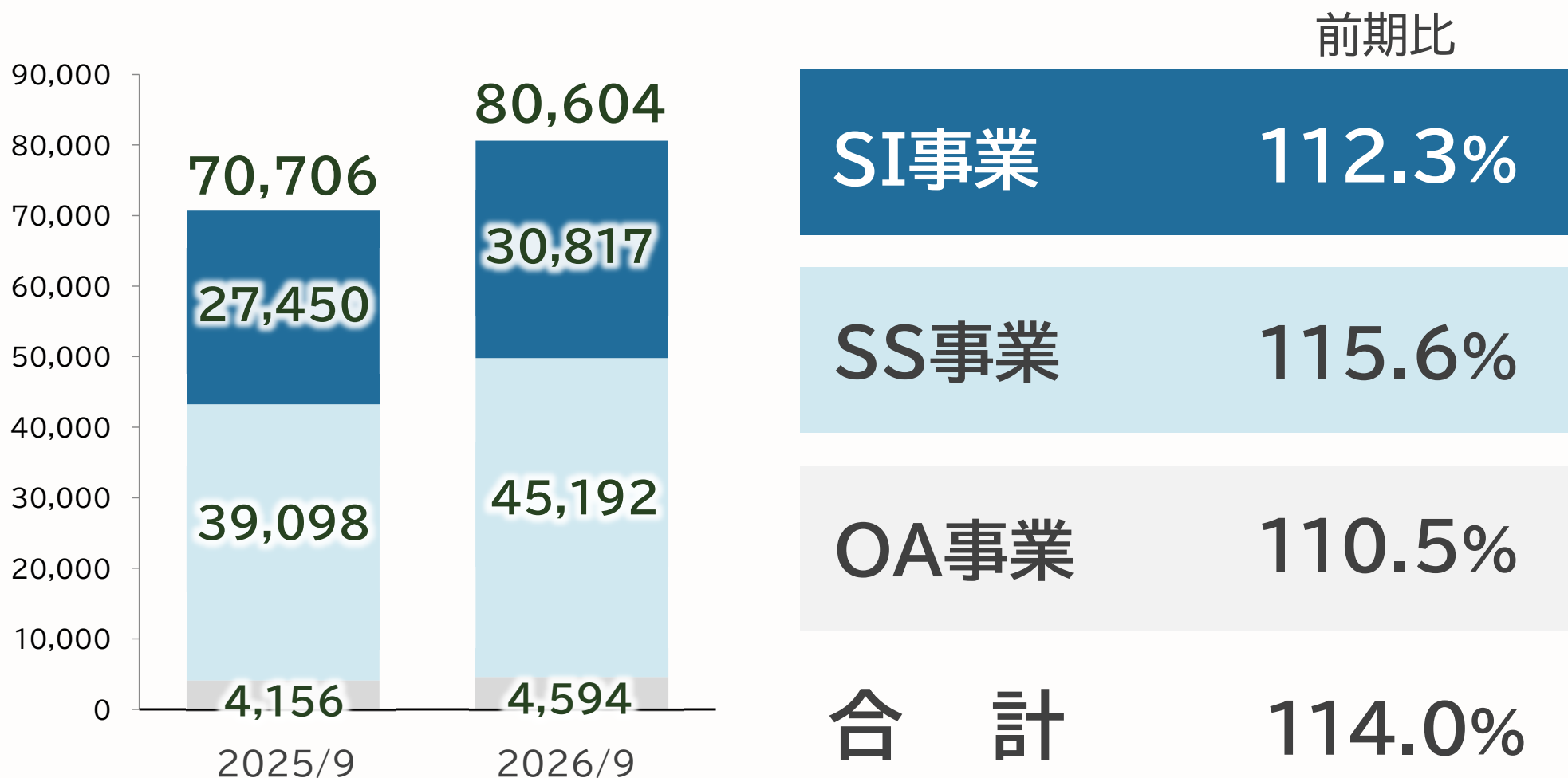
*SI売上に占める構成比 カッコ内は前年同期比

年商1,000億円以上の大手企業からの引き合いが増加
幅広い業種にバランスよく分散し、景気変動に強い安定的な事業構造を維持



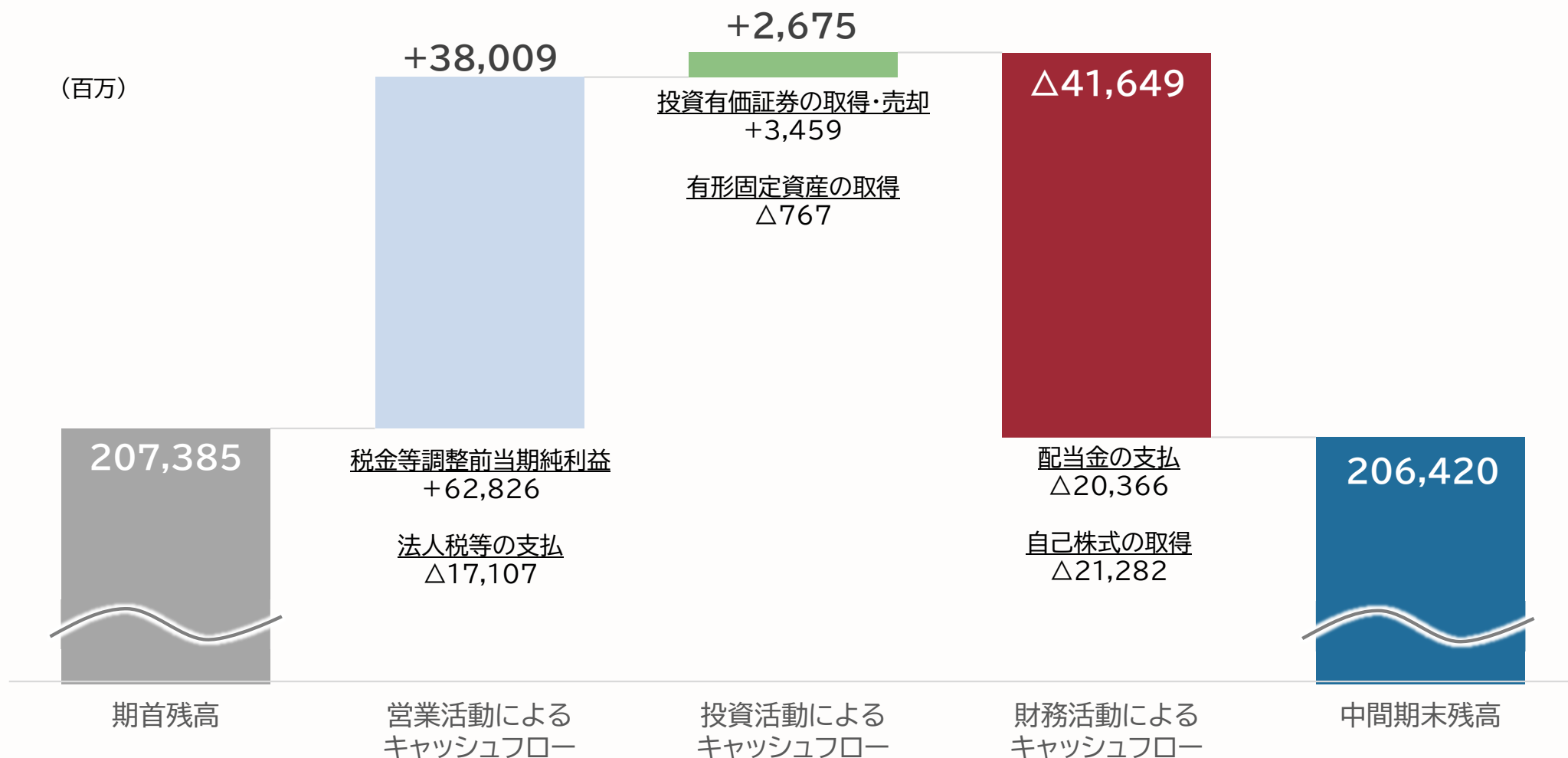
連結セグメント受注高

全セグメントで受注が堅調に推移し、二桁成長を達成
SS事業を中心にさらなる業績拡大に向けた収益基盤を強化



連結キャッシュフロー

本業の順調な拡大により380億円の営業キャッシュフローを創出
配当および自己株式取得による積極的な株主還元を実施



■ 2027年3月期 第2四半期 決算について

■ 直近の取り組み

■ 2027年3月期 業績見通し

知財戦略-AI方針

AIの社内徹底実践を加速し、独自の競争優位性と高付加価値創出へ

自社開発・直接販売で蓄積した業界・業務ノウハウとAI技術を融合し、サービス品質の向上と生産性改善を加速させます。

徹底した社内実践を通じて、将来的には「AI駆動開発」の実現を視野に入れた取り組みを推進。顧客ニーズを捉えた迅速なソリューション提供により、さらなる付加価値を創出します。

徹底的な社内でのAI活用

マーケティング 営業	提案の質 向上
製品開発	開発スピード 品質向上
顧客 サポート	サポート品質 満足度向上

顧客企業への提供



知財戦略-AI社内活用

自社構築のプライベートGPU基盤とオープンウェイトモデルにより
高セキュリティかつ低コストな全社AI活用を実現

【高セキュリティ】

自社GPU基盤によるオンプレミス運用で
機密データ・ノウハウの流出リスク低減

【コスト最適化】

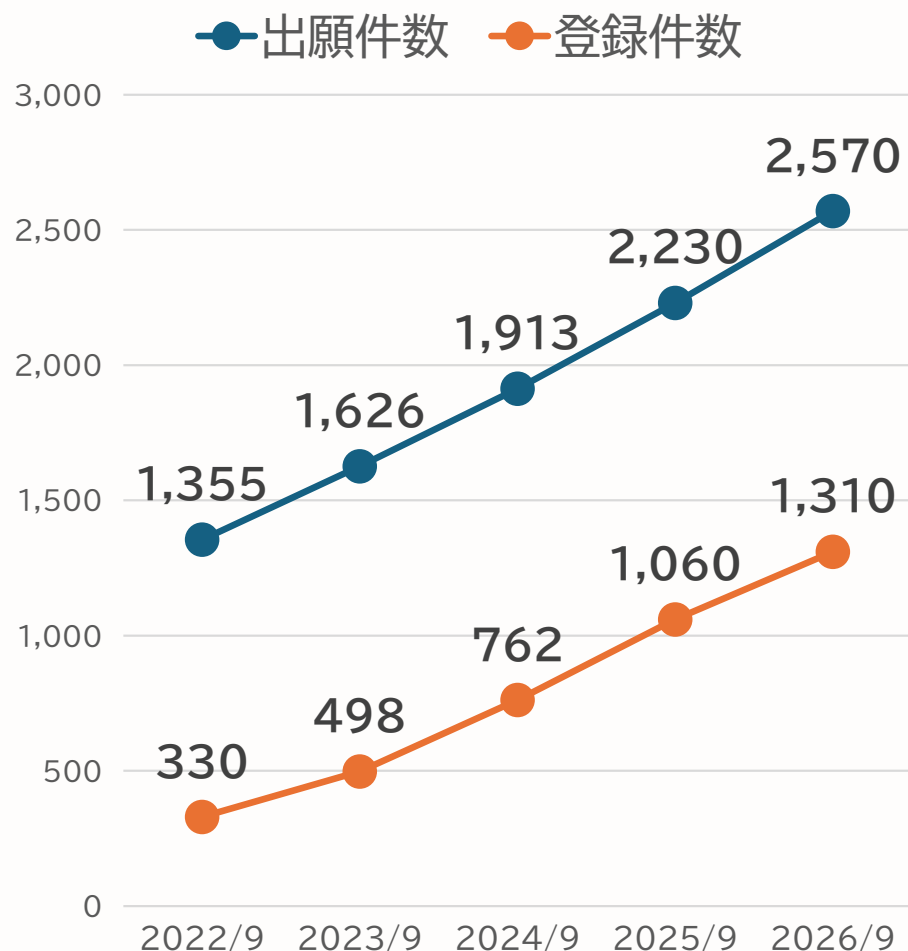
オープンウェイトモデル活用により
利用拡大に伴う従量トークンコスト排除

徹底的な社内でのAI活用				OBIC AI
マーケティング 営業	提案の質 向上	戦略立案	市場調査	提案シナリオ・アプローチ方針の仮説検証
		提案書作成支援	議事録の自動作成	“秘書”としてスケジュール・タスク等を管理
製品開発	開発スピード 品質向上	設計書作成支援	プログラム自動生成	プロンプト指示によるコード自動生成と SEによるレビュー・品質精査体制の確立
		品質チェック	テスト自動化	
顧客 サポート	サポート品質 満足度向上	問合せ対応の早期化	顧客の喪失リスク 分析	法令・税制改正に伴うFAQ・サポート ナレッジの即時自動生成
		社内情報検索	サポート記事の作成	過去問合せ履歴の傾向分析に基づく 対応品質の均質化・迅速化

知財戦略-顧客向け AI×特許

顧客の経営課題の解決につながるAI関連特許を蓄積し
さらなる付加価値提案力の向上を推進

特許件数(累計)



AI関連特許の事例紹介

(顧客向け)

- ✓業績の将来着地予測シミュレーション
- ✓安全在庫変動の自動検知及び適正在庫シミュレーション
- ✓プロジェクト出来高における過去実績との乖離異常自動検知
- ✓AIを用いた仕入先価格改定に伴う得意先への適正単価改定交渉促進機能

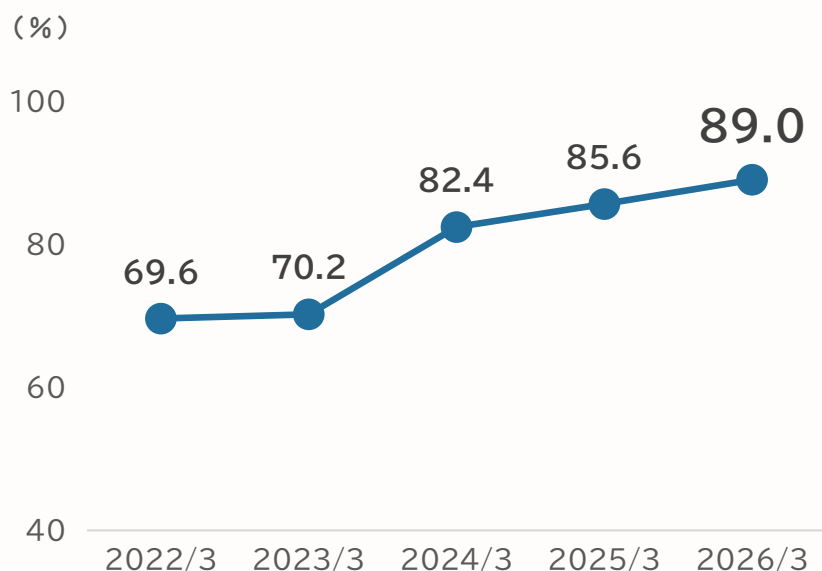
(社内向け)

- ✓法改正を見据えた顧客問合せ予測

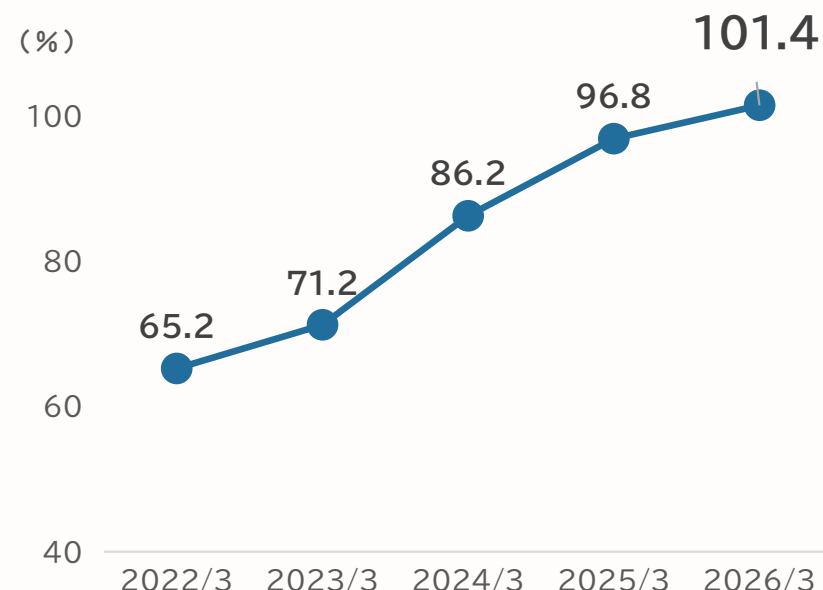
生産性改善に向けて

有給休暇・男性育休等取得率「100%」を目標に掲げ
ワークライフバランスの整備と生産性改善の両立を推進

有給休暇取得率



男性社員の育児休業等取得率



「健康経営優良法人2026
(大規模法人部門) ホワイト500」



「プラチナくるみん認定」
2024年から継続取得

■ 2027年3月期 第2四半期 決算について

■ 直近の取り組み

■ 2027年3月期 業績見通し

2027年3月期 通期計画

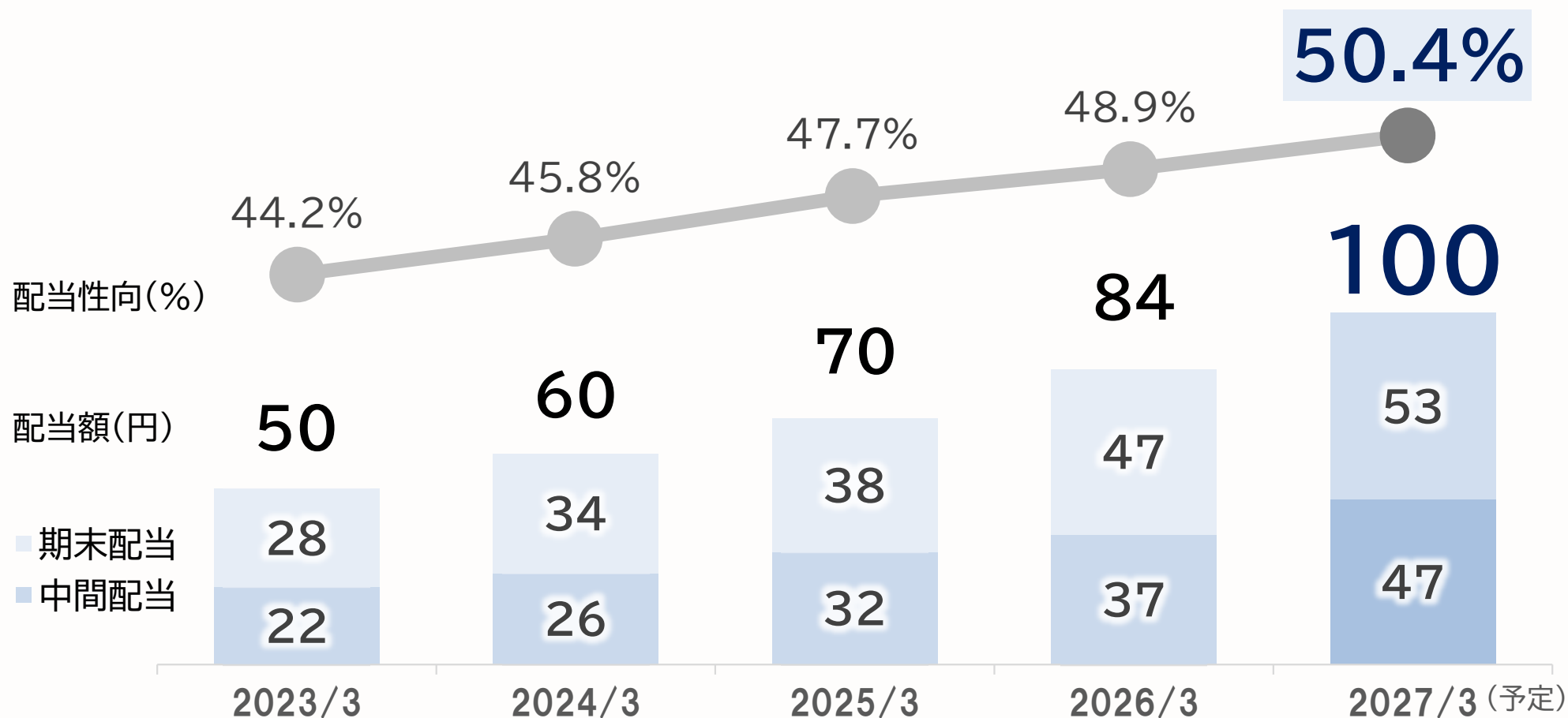
足元の好調な業績動向を踏まえ、通期計画を上方修正
AI活用等による付加価値向上で企業価値の最大化を実現

(百万円)

	前回発表予想 (A)	前期比 (A)	利益率 (A)	修正額 (B)-(A)	今回修正予想 (B)	前期比 (B)	利益率 (B)
売上高	148,700	110.0%	-	+2,500	151,200	111.8%	-
営業利益	98,000	110.3%	65.9%	+2,500	100,500	113.1%	66.5%
経常利益	114,500	109.3%	77.0%	+5,500	120,000	114.5%	79.4%
当期純利益	82,000	109.1%	55.1%	+3,000	85,000	113.0%	56.2%

株主還元強化 配当金

27年3月期は期首計画から6円増配となる年間100円を予定
連結配当性向を安定的に改善し、積極的な利益還元を推進



(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
2023年3月期～2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当額を算定しております。

経営の基本方針

量と質の経営

コンプライアンス重視

効率経営

イノベーション経営の推進

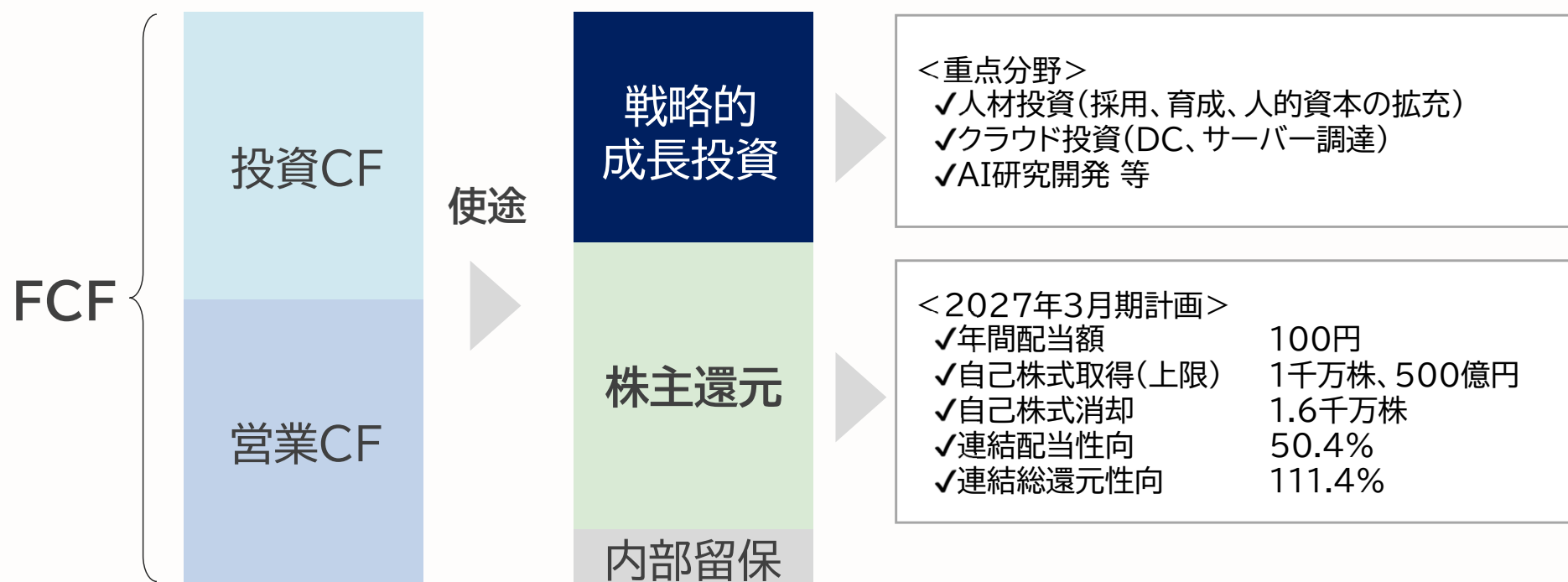
選択と集中

継続こそ企業発展のキーワード

キャピタルアロケーション方針

持続的な企業価値向上を目的とし、資本コストを上回る収益性を確保できる成長領域への投資をキャピタルアロケーションの最優先事項とします。事業活動から創出されたフリーキャッシュフロー(FCF)については、まず将来の競争優位性を高めるため、人材やクラウド、AIなどの戦略的成長投資に充当し、あわせて株主還元の充実を図ります。

株主還元については、安定的かつ継続的な配当を基本として連結配当性向の維持・向上に努めてまいります。さらに、配当実施後の資金については、資本効率の向上と株主価値の最大化を図る観点から、機動的な自己株式の取得等に活用いたします。



グループ各社概要

(2026年9月末現在)

設 立

資本金

人 員

(株) オービック

1968年 4月 191.7億円 2,122名

連結子会社

(株)オービックオフィスオートメーション

1979年 11月 3.2億円 235名

連結社員数 2,357名

持分法適用関連会社

(株)オービックビジネスコンサルタント

1980年 12月 105.1億円 1,155名



www.obic.co.jp

本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的とするものではありません。